

評価会議（平成 28 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1 項目ごと評価

項目		A委員	B委員	C委員
地域活動協議会の現在の状況についての分析 (配点 15 点)		10	12	13
画) 企 案 の 内 容 (事 業 計	事業の実施内容（支援策（取組）の内容） (配点 20 点)	15	15	18
	事業の実施体制等 (配点 15 点)	12	12	12
	今年度の重点支援策（取組） (配点 10 点)	10	8	8
支援策（取組）の実施状況 (配点 40 点)		30	33	20

主な意見等

- ・多様な担い手の活躍の場づくりについては、協働で検討する必要がある。
- ・会計や広報に関する自立支援も徐々に効果を上げている。ただ、まちづくりの基盤となる「将来像（ビジョン）」を、ワークショップなどを通じて描いてもらいたい。
- ・多様な人材による支援体制は評価できる。ワークショップやラウンドテーブルなど活動を支える具体的な取り組みが必要。

2 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	B	A	B

主な意見等

- ・防災を切り口にするのは良いと思うが、もっと多様な取組みの検討が必要。
- ・広報活動は充実しており、防災を軸に他団体との連携も進んでいる。
- ・人材の掘り起こしが道半ばながら進んでいる。ただ、今後の新たな展開が必要

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない